

令和7年度第2回青森市国民健康保険運営協議会 会議概要

開催日時 令和8年3月18日（水）19時～19時45分

開催場所 アウガ5階 青森市男女共同参画プラザ 研修室

出席委員 笠原隆志委員、高森泰彦委員、工藤弘志委員、野尻薫委員、工藤育男委員、小谷健児委員、成田昌穂委員、川村幸子委員、船木昭夫委員、齊藤加代委員、平田留美委員、鳥谷部牧子委員、工藤隆紀委員、加藤宏臣委員、木村敏賢委員
<計15名>

欠席委員 なし

事務局 税務部長 横内修
税務部次長 工藤健志
税務部国保医療年金課長 成田清
税務部納税支援課長兼納税相談センター所長 佐々木潤一
浪岡振興部健康福祉課長 渡邊俊和
国保医療年金課主幹 山内克昌、国保医療年金課主幹 森敏之
納税支援課主幹 土田尚史、国保医療年金課主事 蝦名昇
国保医療年金課主事 阿保勇輔、国保医療年金課主事 山谷未侑
国保医療年金課主事 鎌田梨乃

<計12名>

会議次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 諮問
○青森市国民健康保険税の税率等の改定について
- 4 諮問事項審議
- 5 その他
- 6 閉会

議事要旨

諮問事項 青森市国民健康保険税の税率等の改定について

初めに、西市長から船木会長に、青森市国民健康保険税の税率等の改定に係る諮問書が手渡された。

続いて、諮問事項審議のため、事務局から資料1に基づき、諮問内容について説明を行った。

意見、質疑応答

○委員

子ども・子育て支援制度に伴う税率改定についての説明は、非常に分かりやすかった。その中で、黒字見込みを想定し、さらなる徴収を抑えるような配慮は、非常にありがたい。一方で、青森市の基金の残高が非常に少ないことには注目していかなければいけない。なので、子ども・子育ての支援に繋がるのであれば、今回の案が令和8年度から子ども・子育て支援金月250円を取るものであっても、令和11年度の段階でもしもそのお金が不要であったなら税率を下げて還元するというやり方でもよかったのかなと思う。もちろん、冒頭言ったとおり、今回の案でも十分ありがたく感じている。

○事務局

先ほど説明させていただいたとおり、令和9年度以降については、県の納付金が幾らになるかにもよるため、毎年度、国保特会の収支のバランスを見ながら税率等の設定をさせていただきたいと思っている。

○委員

全体では税率が変わらない今回の諮問内容は物価高、光熱費高などの中にあって被保険者の納得は得られるのではないかと感じた。あと、年度年度で状況は変わっていくので、毎年度精査して税率を諮っていくのが妥当と感じた。

○委員

今回の子ども・子育て支援金に係る税率改定に関しては、大前提が全世代で負担するということなので、青森市でいろいろ考え、医療給付費分から引いたのは、大変よいアイデアだと思う。ただ、今後基金が底をついたり、医療費改定もあり、医療費がこれからどんどん増えていく状況については、私たち健康保険組合も大分財政は厳しいので、いろいろ考える必要がある。ただ、制度として国が令和8年度から徴収しなさいということになって、それぞれが工夫した結果であり、よい形ではないかと思う。ただ、今は月400円というところまでだが、今後、国がどういう方策を打ってくるかはわからない。また上がる可能性もあると思うので、注視は必要だと思っている。